

報道関係各位

～いま、ここで考える夏の5日間～
「山のシュレー2010」言葉・身体・環境
自然豊かな山の中で開かれる学びの学校

那須の地から文化を発信する「山のシュレー」が今年も行なわれます。
自然と交感し、知と心を満たしてゆくシンポジウムやレクチャー、豊かな体験ワークショップ
など19種類の多彩なプログラムが【7月30日から8月3日】までの5日間開催されます。
講師陣には各界で活躍されている方々をお招きし、美しい里山を残す那須高原の森で、
共に語り、共に食す、本当の意味での豊かな時間をお過ごしください。

ー講師と受講生の枠を超えた豊かな「学び」のためのシュレー（学校）ー

今夏3回目を迎える「山のシュレー2010」が、NPO法人アート・ビオトープ主催、二期倶楽部共催・協力のもと、自然の叡知 21世紀の文化と技を考えるー自然から文化へ、文化から自然へーをテーマに、
7月30日（金）から8月3日（火）まで行なわれます。

美しい里山を残す那須高原山麓横沢を舞台に、先鋭の講師陣によるレクチャーやワークショップが連日開催されるほか、演奏会や特別企画なども様々催され、大人からお子様までが、それぞれに知と心を満たしゆく、充実した夏の1日を過ごす格好の場となることでしょう。

オープニングでは、人類学者 中沢新一氏を迎え、東京藝術大学教授 伊藤俊治氏、写真家・映像人類学者 港千尋氏によるシンポジウムが行なわれ、今年の山のシュレーの幕開けです。

“人との繋がり” “自然との繋がり”を感じるなかで、講師と受講者の枠を超えた豊かな「学び」の時間を紡ぎだすサマー・オープン・カレッジ「山のシュレー2010」をお楽しみください。

【日時】2009年7月30日（金）～8月3日（火）※プログラムにより開始・終了時間は異なります。

【場所】アート・ビオトープ那須、二期倶楽部庭内「観季館」等

【住所】栃木県那須郡那須町高久乙道上 2294-3 0287-78-7833

【WEB】<http://www.shuleimberg.com/>

【当日イメージ写真】



Art Biotop 那須

《プログラム内容》

オープニングシンポジウム— テーマ対談・鼎談

第一部 中沢新一（人類学者）× 伊藤俊治（美術史家）

第二部 中沢新一（人類学者）× 港千尋（写真家・映像人類学者）× 伊藤俊治（美術史家）

第三部 開き舞台 地霊に聴く。「おくのほそ道」那須幻想

出演：安田登（能楽師）× 槻宅聡（能楽笛方）× 奥津健太郎（能楽狂言方）

特別対談

安田登（能楽師）× 未定 ※5月下旬決定予定

原研哉（グラフィックデザイナー）× 新見隆（キュレーター）

湯川れい子（音楽評論家）× 能勢伊勢雄（写真家・美術展企画）

的川泰宣（宇宙工学者）× 小川三夫（宮大工）

座学講座

新見隆（キュレーター）

鶴岡まゆみ（美術文明史家・ケルト芸術研究家）

青柳正規（西洋古代美術史家）

石川直樹（写真家）

大久保達弘（森林生態学者）

佐治晴夫（宇宙物理学者）

ワークショップ

安田登（能楽師）「自然×能ワークショップ」

宮崎康典（二期倶楽部総料理長）「料理教室×ランチ」

自然ワークショップ

小林崇（ツリーハウスクリエーター）

森のウォーキング

ひげじい — 竹で遊ぼう

ガラス工房公開制作

麴谷宏（グラフィックデザイナー）× 高橋禎彦（ガラス作家）

その他：山のシューレ特別企画

—3夜連続特別企画 PEPPERLAND ムジック・スペクタクル

—チャリティーランチテーブル

—惑星の庭園 —石川直樹写真展—

—BARラジオ 尾崎浩司の時【期間限定】オープン

—結び舞台+カクテルパーティー 出演：中垣雅葉 プロデュース：工藤毅志

■アート・ビオトープ那須 概要

住所：〒325-0303 栃木県那須郡那須町高久乙道上2294-3TEL:0287-78-7833(代表)

事業内容：自然と感性が交わる創造の小さき庭「アート・ビオトープ那須」は、陶芸工房、ガラス工房を備えた長期滞在型レジデンス。長期で那須の豊かな自然と創造活動を楽しむ機会を提供。陶芸やガラス作家によるワークショップも季節折々に開催する他、自然体験ワークショップ、夏には山のシューレ(学校)が毎年行なわれる。

■ 本資料に関する報道機関からのお問い合わせ

広報窓口：片山亜香梨 (a-katayama@nikiresort.jp)

住所：東京都渋谷区大山町 45-18 Tel:03-3466-5818/Fax:03-3466-5902